

肝炎検査受検状況実態調査（国民調査）

【調査票のご記入にあたって】

- ◇この調査は、国民の皆様がどの程度肝炎検査を受検されているか、どの程度肝炎検査についてご存知かをおうかがいし、今後の肝炎検査受検についての普及啓発のための政策立案の基礎資料とさせていただくことを目的としたアンケートです。
- ◇この調査の対象者は、国内に居住する20歳から79歳の方の中で、市・区役所や町役場の了解を得て住民基本台帳から全国で370地点、無作為に抽出した74,000人の方となっております。この調査票をお送りした際の封筒の宛名の方がお答えくださいますようお願いいたします。
- ◇この調査において「肝炎検査」とは、特に説明が無い場合はB型肝炎検査、C型肝炎検査両方のことを指します（それ以外の型の肝炎検査については含めません）。
- ◇おたずねする質問の中で、「あてはまる番号ひとつに○をつけて」いただくもの、「あてはまる番号すべてに○をつけて」いただくものなどがありますが、質問の指示に従い、あてはまる番号に直接○を付けてください。
- ◇おたずねする質問の中で、「その他」の項目番号を選んだ場合には、（ ）内に内容を具体的にご記入ください。

ご多用中のところ誠に恐縮ですが、調査票は、平成24年1月20日（金）までにご回答いただき、同封の返信用封筒（切手不要）にてご返送くださいますようお願い申し上げます。

この調査の問合せ先：

株式会社サーベイリサーチセンター 肝炎検査受検状況実態調査 アンケート調査事務局

担当：村木（むらき）、坂本（さかもと）

電話：0120-353-808（平日9:00～18:00）

FAX：03-5832-7060

所在地：〒114-8519 東京都北区田端1-25-19 サントル田端一丁目
（株式会社サーベイリサーチセンター 田端事務所）

弊社HP：<http://www.surece.co.jp>



当社は個人情報の保護をお約束する「プライバシーマーク」の認定を受けております。

【すべての方にうかがいます】

問1. あなたは、B型肝炎、C型肝炎をご存知ですか。あてはまる回答を以下の(1)(2)の選択肢にそれぞれ○をご記入ください（あてはまる番号それぞれひとつに○をつけてください）。

(1) B型肝炎	1. 具体的な症状や治療方法について知っている 2. 名前は聞いたことがある 3. 知らない
(2) C型肝炎	1. 具体的な症状や治療方法について知っている 2. 名前は聞いたことがある 3. 知らない

<<B型肝炎・C型肝炎と肝炎ウイルス検査とは?>>

■**肝炎**とは、「肝臓に炎症が起きている状態」、すなわち肝臓の細胞が破壊されている状態を指し、これが肝炎ウイルスによって起こるものを「**ウイルス性肝炎**」といいます。ウイルス性肝炎にはA～E型の5種類があり、なかでもB型及びC型肝炎ウイルスの患者・感染者は合わせて推計300万人を越しており、**国内最大の感染症**とも言われています。

■**肝炎ウイルス検査**とは、B型、C型などのウイルス性肝炎の感染を判定するための血液検査（採血した検体の検査）です。これは一般的な健康診断で行われている**肝機能検査（AST(GOT)、ALT(GPT)、 γ -GTPなどを測定）とは別の検査**^{*}です。

肝炎ウイルス検査は、自ら医療機関等で受ける場合以外に、現在の**献血時**には肝炎ウイルス検査をしています。また**出血を伴う可能性のある手術**や、**分娩**に際して、医療機関で肝炎ウイルス検査をしている場合があります（概ね1990年代以降には検査されていると考えられます）。

^{*}一般的な健康診断でも、会社や健康保険組合の意向等により肝炎ウイルス検査を行なっている場合もあります。

【次に、あなたご自身の肝炎ウイルス検査に関係がありそうな既往歴についてうかがいます】

問2 あなたご自身は、過去、以下の(1)～(3)についてご経験がありますか。

(I) それぞれの経験について、お答えください

(あてはまる番号ひとつに○をつけてください)。

(II) また、経験がある場合はその時期をお答えください

(複数回の経験がある場合は最近経験した時期をご記入ください)。

種類	(I)：経験の有無	(II)：時期
(1) 大きな外科手術 (全身麻酔での手術)	1. 1回ある 2. 2回以上ある 3. ない	↓ 経験が「ある」場合、直近の時期 西暦・昭和・平成 () 年頃
(2) 妊娠・出産【女性のみ記入】	1. ある 2. ない	↓ 経験が「ある」場合、直近の時期 西暦・昭和・平成 () 年
(3) 献血	1. 1回ある 2. 2回以上ある 3. ない	↓ 経験が「ある」場合、直近の時期 西暦・昭和・平成 () 年

問3. あなたは今までに「肝炎ウイルス検査」を受けたことがありますか

(あてはまる番号ひとつに○をつけてください)。

1. 1回だけ受けたことがある	3. 受けたことがない
2. 2回以上受けたことがある	4. 分からない



【1または2と答えた方】
4ページの問4に
お進みください。



【3と答えた方】
6ページにお進みいた
だき、問5(1)から
お答えください。



【4と答えた方】
6ページにお進みいた
だき、問5(2)から
お答えください。

【肝炎ウイルス検査を受けたことがある方にうかがいます】

問4 検査はどのような経緯で、受けられましたか。これまでに(a)受検したきっかけと(b)受検した場所について、それぞれお答えください。また、問3で「2. 2回以上受けたことがある」とお答えいただいた方は(c)2回以上受けた理由についてもお答えください。

(a) 受検したきっかけはどのような理由ですか（あてはまる番号すべてに○をつけてください）。

1. 40歳以上を対象とした検診の通知が、市町村から自分個人宛に送られてきたため
2. 都道府県や政令市のパンフレットやホームページで、保健所・医療機関での無料の検査を知ったため
3. 職場(加盟健康保険組合等を含む)での定期健康診断や人間ドックの検査項目にあったため
4. 手術前の検査、妊娠・出産時の検査、内視鏡検査前などの際に検査されたため
5. 親族や知り合いに肝炎にかかった人がいたため
6. 日本赤十字社の献血センターで献血した際に検査されたため
7. その他 ()
8. 特に理由はない(なんとなく)

(b) 受検した場所はどこですか（あてはまる番号すべてに○をつけてください）。

1. 保健所
2. 肝炎検査を受検することを目的として行った医療機関(病院・診療所)
3. 肝炎検査以外の目的で行った医療機関(病院・診療所)
4. 職場内
5. 日本赤十字社の血液センター(献血ルーム等を含む)
6. その他 ()
7. 分からない、覚えていない

(c) 【問3で「2. 2回以上受けたことがある」と答えた方に伺います】

2回以上受けたのはどのような理由ですか（あてはまる番号ひとつに○をつけてください）。

1. 前回の検査の結果を忘れたため
2. 前回の検査以降、感染する機会があり、不安が生じたため
3. 前回の検査以降、特に感染機会はなかったが、不安なため
4. 毎年定期的に受検するものと思っていたため
5. 特に理由はない(なんとなく)
6. その他 ()

問4-1-1 受けられた検査の種類はどの検査ですか

(あてはまる番号ひとつに○をつけてください)。

1. B型肝炎ウイルス検査
2. C型肝炎ウイルス検査
3. B型肝炎ウイルス検査、C型肝炎ウイルス検査の両方
4. 分からない、覚えていない

問4-1-2 検査の結果をご存知ですか (あてはまる番号ひとつに○をつけてください)。

1. 知っている
2. 知らない (結果待ちを含む)
3. 分からない、覚えていない

問4-1-3 差し支えなければ検査結果をお知らせください

(あてはまる番号ひとつに○をつけてください)。

1. B型肝炎、C型肝炎いずれも陰性 (感染していなかった)
2. B型肝炎、C型肝炎いずれも陽性 (感染していた)
3. B型肝炎のみ陽性 (感染していた)
4. C型肝炎のみ陽性 (感染していた)
5. 言いたくない

問4-1-4 【結果が陽性であった (感染していた) 方におたずねします。】

結果を受けて、医療機関を受診しましたか

(あてはまる番号ひとつに○をつけてください)。

1. 受診し、治癒したため、今は受診していない
2. 受診し、現在も継続して定期的を受診している (治療中、経過観察中)
3. 受診したが、医師より受診を終了してよいと言われ、今は受診していない
4. 受診したが、自己判断で通院を中止し、今は受診していない
5. 一度も受診していない

【すべての方にうかがいます】

問6. 肝炎ウイルス検査の普及啓発に向けて現在、行政では以下の取り組みが行われています。

以下の取り組みのうち、ご存知のものをお答えください

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)。

1. 広報紙での情報提供
2. インターネットホームページでの情報提供
3. チラシ、ポスター等の職域への配布
4. チラシ、ポスター等の医療機関への配布
5. リーフレットの作成・配布
6. 公開講座、講習会、研修会、シンポジウム等の開催
7. イベントでの普及啓発、街頭キャンペーン
8. 個人宛にハガキなどで検査を通知することによる受検勧奨
9. 検査にかかる費用の無料化、補助
10. テレビ広報 (ケーブルテレビを含む)
11. ラジオ広報
12. 新聞広告、折り込み広告
13. その他 ()
14. 上記についてはすべて知らない

問7. 近年では、肝炎は、インターフェロンや抗ウイルス剤などによる治療が格段に進歩したことにより、早期に検査して発見し、早期に適切な治療を受ければ、完全に治癒できる人の割合が高くなっています。これを受けて、厚生労働省では以下(1)(2)の取り組みを進めています。

以下の取り組みについてお答えください (あてはまる番号それぞれひとつに○をつけてください)。

(1) 保健所や一部医療機関では、今まで検査を受けたことのない人を対象に、「肝炎ウイルス検査」を無料で実施しています。このことをご存知でしたか。

1. 知っていた	2. 知らなかった
----------	-----------

(2) 検査の結果、インターフェロン治療などが必要と診断された人を対象に、治療費の一部は公費補助を受けられます。このことをご存知でしたか。

1. 知っていた	2. 知らなかった
----------	-----------

※肝炎ウイルス検査の無料実施、治療費の公費補助の詳細については、以下のサイトで確認することができます。

- 厚生労働省「肝炎総合対策の推進」
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou09/index.html>
- 独立行政法人国立国際医療研究センター 肝炎情報センター
<http://www.ncgm.go.jp/center/>

